平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名　日本化学産業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4094　URL　http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 柳澤英二
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長　(氏名) 百瀬 譲　TEL 03-3873-9223
四半期報告書提出予定日　平成25年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,660	△0.5	543	6.9	586	4.5	342	△28.3
25年3月期第1四半期	4,685	△20.7	508	△39.3	561	△36.1	476	△3.3

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　667百万円　(35.5%)　25年3月期第1四半期　492百万円　(△11.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	17.23	―
25年3月期第1四半期	24.11	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	31,399	25,872	82.4	1,301.72
25年3月期	30,436	25,353	83.3	1,276.62

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　25,872百万円　25年3月期　25,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,390	4.7	1,070	31.8	1,110	24.6	720	1.3	36.25
通期	19,560	10.7	2,330	43.8	2,420	36.0	1,660	11.1	83.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	20,680,000 株	25年3月期	20,680,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	804,262 株	25年3月期	820,225 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	19,862,197 株	25年3月期1Q	19,785,102 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（セグメント情報等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、昨年末の政権交代後の株価回復、円安傾向継続により輸出の持ち直しが明確化になる等、一部に景気回復の兆しが見られましたが、一方で中国をはじめとする新興国経済の減速が輸出の下押し要因となり、円安に伴い輸入物価も上昇する等、依然として本格的な実体経済の回復までには至っていない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザー開拓への尽力、タイ海外子会社における新製品の販路拡大を目指すとともに、価格競争力を増すための全社挙げての低コスト体質強化に努めてまいりました。その結果、当第1四半期の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比24百万円0.5%減の4,660百万円となりましたが、利益面では、建材事業が順調に推移したこともあり、営業利益が前年同四半期比34百万円6.9%増の543百万円、経常利益が前年同四半期比25百万円4.5%増の586百万円となりました。しかしながら四半期純利益においては、前年同四半期に東京電力原子力発電所事故に伴う損害補償金263百万円を特別利益に計上しましたが、当第1四半期間内に損害補償金交渉が合意に至らなかったこともあり、前年同四半期比134百万円28.3%減の342百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

（薬品事業）

主力の薬品事業は、国内においては、前年同期間に比しての非鉄金属相場上昇による売価アップ、電池用薬品の売上増等がありましたが、納入先の複数購買化や生産拠点の海外シフトの影響等により数量面では伸び悩み、海外においてはタイの海外子会社における新製品が動き出したものの本格化には至らず、売上高は前年同四半期比155百万円3.9%減の3,831百万円となりました。利益面では、国内においては電池用薬品の採算改善や従前から取り組んできた安価原料・リサイクル原料の活用・拡大により幾分改善されたものの、海外子会社がパソコン関連需要の落ち込みや複数購買化・仕様変更等の影響により営業損失となったため、営業利益は前年同四半期比38百万円9.1%減の382百万円となりました。

（建材事業）

住宅ローン減税等の政府の住宅購入支援策の継続や消費税増税前の駆け込み需要等により住宅着工戸数が伸びたため、住宅建材を中心に堅調に推移し、売上高は、前年同四半期比130百万円18.7%増の829百万円となり、利益面でも、増収効果と徹底したコスト削減努力により営業利益が前年同四半期比70百万円35.2%増の272百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金および預金の増加、受注に対応した前倒し生産に伴う仕掛品の在庫増により棚卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末比710百万円増の20,443百万円となりました。また、固定資産は、有形固定資産が前連結会計年度末比118百万円増の6,069 百万円となり、また投資その他の資産は株価回復による投資有価証券の増加により前連結会計年度末比134百万円増の4,864百万円となったことにより、全体では前連結会計年度末比252百万円増の10,955百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、962百万円増の31,399百万円となりました。一方、負債は、流動負債が短期借入金の増加により、前連結会計年度末比363百万円増の4,649百万円となり、固定負債は前連結会計年度末比80百万円増の877 百万円となりました。また、純資産は利益剰余金の増加により前連結会計年度末比519百万円増の25,872百万円となりましたが、総資産の増加がそれを若干上回ったことから、自己資本比率は前年度末の83.3%から82.4%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 26 年 3 月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しているため、第 2 四半期連結累計期間・通期ともに平成 25 年 5 月 10 日公表の予想から変更いたしておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,527,642	9,923,034
受取手形及び売掛金	5,746,034	5,935,556
商品及び製品	1,131,934	1,156,219
仕掛品	1,036,833	1,145,642
原材料及び貯蔵品	2,000,895	2,000,045
繰延税金資産	186,237	185,579
その他	105,388	99,680
貸倒引当金	△1,710	△1,770
流動資産合計	19,733,256	20,443,988
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	2,123,999	2,072,956
その他（純額）	3,827,632	3,996,794
有形固定資産合計	5,951,631	6,069,750
無形固定資産	21,925	21,212
投資その他の資産		
投資有価証券	2,289,699	2,393,203
繰延税金資産	27,574	39,967
その他	2,414,054	2,432,911
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	4,729,758	4,864,512
固定資産合計	10,703,315	10,955,475
資産合計	30,436,572	31,399,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,232,481	2,199,684
短期借入金	630,112	1,028,512
未払法人税等	437,771	259,053
賞与引当金	315,000	164,549
役員賞与引当金	25,000	6,250
災害損失引当金	11,049	8,220
資産撤去引当金	25,000	25,000
その他	609,397	957,874
流動負債合計	4,285,812	4,649,143
固定負債		
繰延税金負債	288,090	339,418
退職給付引当金	304,964	298,334
環境対策引当金	9,532	9,532
資産除去債務	110,368	110,991
その他	84,374	119,332
固定負債合計	797,330	877,609
負債合計	5,083,142	5,526,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	571,695	576,252
利益剰余金	23,840,246	24,023,551
自己株式	△327,627	△321,262
株主資本合計	25,118,315	25,312,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,716	397,944
為替換算調整勘定	△95,601	162,224
その他の包括利益累計額合計	235,114	560,169
純資産合計	25,353,430	25,872,710
負債純資産合計	30,436,572	31,399,463

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	4,685,385	4,660,518
売上原価	3,630,015	3,551,458
売上総利益	1,055,369	1,109,059
販売費及び一般管理費	547,253	566,030
営業利益	508,116	543,029
営業外収益		
受取利息	2,239	6,189
受取配当金	20,478	23,901
不動産賃貸料	7,935	7,707
補助金収入	18,450	－
その他	13,857	14,293
営業外収益合計	62,960	52,090
営業外費用		
支払利息	2,523	3,314
売上割引	3,071	2,656
賃貸収入原価	2,592	2,331
その他	1,624	544
営業外費用合計	9,810	8,847
経常利益	561,265	586,272
特別利益		
受取補償金	263,134	－
固定資産売却益	－	317
その他	－	46
特別利益合計	263,134	363
特別損失		
固定資産除却損	4,990	0
固定資産売却損	7	－
災害による損失	7,341	－
特別損失合計	12,340	0
税金等調整前四半期純利益	812,060	586,636
法人税等	335,094	244,453
少数株主損益調整前四半期純利益	476,965	342,182
四半期純利益	476,965	342,182

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	476,965	342,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104,689	67,228
為替換算調整勘定	120,201	257,826
その他の包括利益合計	15,512	325,054
四半期包括利益	492,477	667,237
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	492,477	667,237
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位千円：千円未満切り捨て）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,986,733	698,652	4,685,385	－	4,685,385
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,986,733	698,652	4,685,385	－	4,685,385
セグメント利益	420,608	201,415	622,024	△113,908	508,116

（注）1. セグメント利益の調整額△113,908 千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位千円：千円未満切り捨て）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,831,501	829,017	4,660,518	－	4,660,518
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,831,501	829,017	4,660,518	－	4,660,518
セグメント利益	382,341	272,365	654,707	△111,677	543,029

（注）1. セグメント利益の調整額△111,677 千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。